



消防団たずね歩き

東灘市民放水大会

神戸市の最東部に位置する東灘区は、京都・大阪に通じる街道沿いにあり、古くから産業が発達した先進地域で、六甲山からの急流を利用して水車業が発達し、海岸には天下の名醸地として多くの酒蔵が軒を連ねています。神戸市内で酒蔵が一番多いのも東灘区です。総人口約21万2000人。その中で約150人の東灘消防団員が活動しています。

1月27日、東灘市民放水大会が実施されました。同大会は、阪神・淡路大震災後の平成10年から「区民の防災意識の向上」を図るために、年頭行事として約1,000人の地域住民等が参加して盛大に住吉川河川敷で開催されています。

東灘市民放水大会を実施するにあたっては、地域の防災リーダーである東灘消防団員が、防災福祉コミュニティに対して、小型動力ポンプの取り扱い、放水等の指導をします。

阪神・淡路大震災から18年が経過し、震災を経験していない区民は50%となり、震災の教訓を伝授していくことは困難となってきました。

そこで、この放水大会を通して、消防団が防災福祉コミュニティをはじめとする、住民に「震災の教訓」を伝授をしていきたいと考えています。

(東灘消防団 本団 高橋実芳子)



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

